

「怒りを持って阻止」

元首相ら40人 反対集会とデモ

集団的自衛権

安倍政権が目指す集団的自衛権の行使容認に反対する元首相や県平和運動センターの関係者ら約400人が29日夕、JR富山駅前前で反対集会を開き、市街地をデモ行進した。

午後6時半から、C i Cビル（富山市新富町1丁目）前広場であった集会では、呼びかけ人の1人である土井由三・元小杉町長は、私的諮問機関を重用する安倍晋三首相について、

7/30 朝日

「一国の首相にあつてはならない態度。怒りを持って行使容認を阻止したい」とあいさつ。「軍事一辺倒の対応は、戦争の危険を増す



集団的自衛権の「行使ストップ」を訴えるデモの参加者ら。富山市新富町2丁目



だけ。必要なことは近隣諸国との友好と対話で憲法の改悪、破壊の強行は暴挙」などとする緊急アピール文を読み上げた。

この後、参加者は「平和憲法を守れ」「戦争する国にするな」などと訴えながら、富山駅周辺をデモ行進した。3歳の長男と一緒に参加した富山市の女性(33)は「集団的自衛権行使が容認されれば、将来、子どもが戦争へ行かされる恐れがある。これからも断固として反対の声を上げていきたい」と話した。

(井瀧克弘)

富山駅前前でデモ行進

県民ら 集団的自衛権阻止へ

集団的自衛権の行使容認阻止と特定秘密保護法の廃止を求める緊急集会が二十九日、JR富山駅前のC i C前広場であり、県民有志ら約四百人が参加した。

元小杉町長の土井由三さんと県内の弁護士、大学教授ら二十人が呼び掛けて催し



集団的自衛権の行使容認阻止などを求め、デモ行進する参加者たち。JR富山駅前

た。

土井さんはあいさつで、安倍晋三首相が私的諮問機関の報告書を基に解釈改憲を進めようとしていることに、「身内の報告書を公の意見かのようにして解釈改憲に踏み出すのは首相としてあってはならない」と批判。「日本国憲法をまもる富山の会」代表の青島明生弁護士は「今、止めるしかない」と特定秘密保護法の廃止などを求めた。

参加者は集会後、「平和憲法を守れ」などと書かれた旗を掲げ、二・五キロをシユブレヒコールして歩いた。(伊勢村優樹)

普天間基地はいらない! 新基地建設は許さない!

沖縄連帯キャラバン 6.4富山県民集会

次の集会です
動員点検
お願いします

・日 時 2014年 6月 4日(水) 18:15~
・会 場 富山駅前 C i Cビル前広場